科目名	公衆衛生学	科目分類	□基礎教育科目　■専門教育科目 ■卒業必修 ■栄養士必修 □選択
英文表記	Public Health	開講年次	□１年 ■２年
ナンバリング	SH210G	開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中
ふりがな	かわい　きよひろ	授業形態・修得単位	講義・２単位
担当教員名	川合　清洋	実施方法	■対面のみ　□遠隔のみ □対面・遠隔併用
		実務家教員担当科目	
授業のテーマ	公衆衛生学は、地域社会の組織的な努力により疾病を予防することから寿命の延長を図るとともに身体的並びに精神的能力を増進するための技術と知識を修得する科学であることを理解する。		
授業概要	個々の対象のみならず公衆すなわち人間集団の健康を考えた領域で、「社会」、「環境」、「生活習慣」、「社会保障制度」、「健康にかかわる統計資料」などについて栄養士に必要な知識の修得ができるようビジュアル・エイドの活用を図り学修の理解度を高めるための展開を図る。		
到達目標	・社会や環境がヒトにおよぼす影響について理解できる ・疾病の予防、健康の保持・増進に役立つ知見・知識について理解できる ・健康に関連する種々の統計上の問題点についての確認と内容が理解できる		
授業時間外の学習	・事前学習としてテキスト・資料の一読（30 分） ・事後学習として、レポート作成（文献検索を含む）（60 分）		
履修条件	基礎科学、食品衛生学等の基礎内容を充分に理解していること		

授業計画	
第１回	テーマ： ガイダンス、公衆衛生とは―定義―
第２回	テーマ： 社会と健康―公衆衛生の概念―
第３回	テーマ： 環境と健康―生態系と人々の生活―
第４回	テーマ： 環境と健康―環境汚染と健康影響―
第５回	テーマ： 環境と健康―環境衛生―
第６回	テーマ： 健康・疾病・行動に関わる統計資料―人口静態統計・人口動態統計・生命表・傷病統計―
第７回	テーマ： 健康状態・疾病の測定と評価―疫学の概念と指標、疫学の方法、根拠に基づいた医療とは―
第８回	テーマ： 生活習慣の現状と対策―健康に関連する行動と社会、身体活動、運動―
第９回	テーマ： 生活習慣の現状と対策―喫煙行動、飲酒行動―　小テスト
第 10 回	テーマ： 生活習慣の現状と対策―睡眠、休養、ストレス、歯科保健行動―
第 11 回	テーマ： 主要疾患の疫学と予防対策―がん、循環器疾患、代謝疾患―
第 12 回	テーマ： 主要疾患の疫学と予防対策―骨・関節疾患、感染症―
第 13 回	テーマ： 主要疾患の疫学と予防対策―精神疾患、自殺、不慮の事故、虐待、暴力―
第 14 回	テーマ： 保健・医療・福祉の制度―社会保障・医療制度・福祉制度について―
第 15 回	テーマ： 保健・医療・福祉の制度―地域保健・母子保健・成人保健・高齢者保健・学校保健について―
第 16 回	定期試験

テキスト	今村、武山、伊藤　他　「公衆衛生学・健康管理概論」　第一出版
参考文献・資料	木村美恵子　他　「公衆衛生学　第３版」　化学同人
成績評価の方法	出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。
成績評価基準	秀(100～90 点)、優(89～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下)
オフィスアワー	水曜日　16:30～17:30

受講生に望むこと・受講のルール	ヒトの健康と社会との関わりについて、諸々の統計データをもとに理解するとともに、将来の病気・疾病の予防を個々人及び社会全体に対して役立てて欲しい。